

視覚支援普及啓発講演会実施要領

1. 趣旨・目的

発達障害等を要因として、対人関係やコミュニケーションに悩む若者や親子が増加しており、うまく伝えられない、伝わらないばかりに、二次障害(注1)も増加傾向にあります。また、高齢者においても、難聴者や認知症患者も増加しています。これらの伝えづらさから生じる障壁は、視覚支援(注2)によって生活全般に一定の安定効果が期待できるとされていますが、一般に認知度は低い現状です。

本市では、視覚支援の具体的な学びの機会を幼少期から得られるよう今年度から「先輩ママとの子育て勉強会」を開始しました。それと同時に、発達障害等は、環境により、障害になったり、ならなかったりすると言われていることから、視覚支援への理解者や実践可能な人を増やし、やさしい環境づくりにつなげるために、講演会を開催し、広く普及啓発を図ることとしました。

このたびは、視覚支援のうちのICT分野のツールを利用することで発達障害等の方の生活に豊かさが生まれるお話を取り組みの理念とともにご講演いただきます。

(注1)周囲の理解がなく、障害がねじれ、複雑化すること
(注2)目から入る情報伝達経路を利用して伝えようとする支援

2. 主催 下松市

3. 日時 平成30年9月16日(日) 13時30分~15時45分(13時開場)

4. 場所 スターピアくだまつ 2階 展示ホール(下松市中央町21-1)

5. 演題 「視覚支援で、個々の能力に応じた学びを支援する ~ロボットやAI時代の学びとは?~」

6. 講師 東京大学先端科学技術研究センター教授 中邑 賢龍 先生

7. 対象者及び定員

関心のある方ならどなたでも 250名程度(先着順)

8. 参加料 無料

9. その他 手話・要約筆記あり

10. 申込方法

9月10日(月)までに、おところ、お名前、年齢、連絡先等を、FAXまたはメール・お電話にて、お知らせいただき、お申込みください(チラシ裏面の申込様式をご活用ください。市ホームページからもダウンロードできます。)

11. 申込み・問合せ先

下松市福祉支援課障害福祉係

☎ 0833-45-1835/FAX 0833-41-1515/

[メール fukushien@city.kudamatsu.lg.jp](mailto:fukushien@city.kudamatsu.lg.jp)